



この附近はかつて三田四国町とわかれ  
 たところ、昭和三十九年の住居表  
 示の改正により芝三丁目となり、  
 四国町の名は明治五年以来公式  
 にならなもので江戸時代は三田通り帯  
 を含めていたものがある。その由来は昔  
 こゝに四国の大名屋敷(河津徳島・土  
 佐高知・讃岐高松・伊予松山の各藩  
 邸)があったといわれている。

この地には江戸時代初期以来薩  
 摩藩の上屋敷があった。慶応三年  
 (一八六七)明治維新の発端ともいえる  
 薩摩屋敷の焼打り事件は、  
 明治初年には屋敷あとのあちこ  
 ちにははらばらや空地が残る  
 人々は薩摩原と呼んでいた  
 た。